

主要施策名:(3)スポーツ活動の充実

事務事業本数:7

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(3)スポーツ活動の充実	(1)生涯スポーツ活動の普及振興	231-1	市民スポーツ振興事業	スポーツ振興課
		(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成	232-1	体育団体運営支援事業	スポーツ振興課
			232-2	競技スポーツ大会補助事業	スポーツ振興課
			232-3	国際スポーツ大会キャンプ誘致等推進事業	スポーツ振興課
		(1)生涯スポーツ活動の普及振興	231-2	マラソン大会運営事業	スポーツ振興課
		(3)体育施設の整備充実と利用促進	233-1	体育施設管理運営事業	スポーツ振興課
			233-2	多目的競技場建設事業	スポーツ振興課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① スポーツ事故見舞金	スポーツ大会での怪我等に対する見舞金。	見舞金件数	件数	1	0	0	0
② 市民スポーツ大会委託事業	各種目団体へ社会体育活動の推進を委託し、大会を開催する。	実施大会数	大会	7	3	0	—
③ 地域スポーツ振興委託事業	各支館にて実施するスポーツ行事振興委託	委託支館数	支館	21	21	21	21

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(市民スポーツ大会参加者数)	1566	1131	0
投入コスト合計(千円)	2,330	5,151	4,389	5,279
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	5	0	0
コスト評価(対前年比)	***	32.67% (↓)	0.00% (—)	0.00% (—)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 市民スポーツ大会参加者数(全市民対象事業)	市民スポーツ大会、スポレクフェア及び支館対抗駅伝の合計参加者数	人	1500 1566	1600 1131	1200 0	—
2						

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、すべての行事を中止した。令和3年度から市民スポーツ大会は玉名市スポーツ協会が実施、支館対抗駅伝は玉名市スポーツ推進委員協議会が実施予定。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため多くの行事が中止となった		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	市民スポーツのつら、教育委員会主催事業(11種目分)について競技団体が開催しやすい環境をつくるため、玉名市スポーツ協会へ委託する。コロナ禍においても大会や行事を実施することができる環境づくりの整備、マニュアル作成等を計画検討する必要がある。またスポレクフェアはスポーツ推進委員協議会が大部分の業務を担っているため、同じく委託する。市民スポーツ大会委託事業は玉名市スポーツ協会補助事業へ、スポレクフェア負担金は地域スポーツ振興委託事業へ。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 市民スポーツ大会委託事業		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナ禍においてほぼ全ての事業が中止された中で、事業内容や委託先の選定等の業務が遂行出来た。次年度においては、見直された事業内容等を実践し、効果の検証を行っていく必要がある。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名市スポーツ協会補助金事業	体育協会全体及び種目協会に補助し、競技力を向上させる。	交付件数	件	16	16	8	20
② スポーツ推進委員協議会等運営事業	スポーツ推進委員協議会への活動補助を行い、活動の推進を行う。	研修会参加数	回	4	5	0	5
③ 熊本県スポーツ協会スポーツ振興事業	県体育協会への負担金を納め、活動支援を行う。	負担金交付件数	件	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(市協会加盟団体数)	33	34	34
投入コスト合計(千円)	21,848	24,017	11,682	16,328
対象1単位あたりのコスト(千円)	662	706	344	467
コスト評価(対前年比)	***	93.73% (↓)	205.59% (↑)	73.65% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 県民体育祭総合順位	県民体育祭出場全種目の男女総合順位	位	5	5	5	5
2			8	9	-	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため大会中止。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担になじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	総合型地域スポーツクラブ関連事業については、令和2年度で補助終了。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止となった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	玉名市スポーツ協会及び玉名市スポーツ推進委員協議会への支援は、今後も現状のまま継続する。又、各競技団体や施設と協議を行い、コロナ禍で実施できる方法を検討する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	総合型地域スポーツクラブ自立支援補助金事業	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止となった。人の集まる場がなくなったことにより特にスポーツ推進委員の活躍の場がなくなっている。次年度においては、コロナ禍において開催できる何らかの方法を検討していきたい。地域スポーツ活動の普及を図る上で、必要不可欠な施策であり、今後も継続していく必要があると考える。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 全国大会出場激励金交付事業	全国大会以上の大会に出場する市民に対して激励金を交付する。	激励金交付者数	人	121	106	31	200
② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	0	0	1
③ くまもと玉名杯九州高等学校レスリング大会補助金事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	0	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算			
	対象(スポーツ大会参加者数)	1185	52	0	1100		
投入コスト合計(千円)	16,223	13,194	3,541	17,548			
対象1単位あたりのコスト(千円)	14	254	0	16			
コスト評価(対前年比)	***	5.40%	(↓)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 競技スポーツ大会参加者数	参加者数(玉名ハーフ、レスリング、駅伝)	人	1000	1200	1100	1100
			1185	52	0	
2						

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため大会中止。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 補助事業のため ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	大会継続、振興に努めたが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためすべての大会は中止となってしまった。全国大会等出場激励金については市民が全国大会へ出場する際の激励奮起のため、今後も協議を続ける必要がある。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	金栗四三氏を冠としたハーフマラソン大会や金栗駅伝大会は、各地で大会終了が相次いでいる中で歴史と伝統のあるものとなっている。今後どのような形で継続するか検討する必要がある。全九州高等学校レスリング大会は本市で国体や高校総体が開催されており、レスリングのまちづくりとしてイメージ構築がなされている。また、新型コロナウイルス感染症に対応する対策を行い開催に向けて取り組む必要がある。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	全国大会出場激励金交付事業においては各種競技の選手が全国規模の大会で奮闘してもらうための激励、金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業及び、全九州高等学校レスリング大会補助金事業は長年継続して開催しており、玉名のイメージとして定着しているものとする。本年度はコロナ禍により中止となっているが、次年度においては、コロナ対策を強化し開催できるようにしたいと考える。	評価責任者 <b>小山 晃生</b>
-------------------	--	-----------------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① アンゴラ共和国代表選手団事前キャンプ誘致事業	情報発信、講演会や教室	実施数	回	3	6	4	1
② アンゴラ女子ハンドボールチーム事前キャンプ誘致事業(R2繰)	スポーツ合宿	実施数	校	0	1	1	1
③ スポーツ合宿誘致等推進事業	体験型授業	実施数	回	4	6	0	-

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(市民)	66850	66319	65817	65189
投入コスト合計(千円)	9,855	16,997	7,214	30,754
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	57.52% (↓)	233.82% (↑)	23.23% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 国際スポーツ大会等キャンプ誘致数	キャンプ誘致数(国内チーム含む)	件	0	1	2	2
2 国際スポーツ大会に係る講演会等の開催数	あすチャレスクール実施回数 (車椅子バスケット、パラアスリート体験型授業)	校	4	6	6	-
* 成果未達成時の理由			①東京2020オリンピックが1年延期となったため、アンゴラ女子ハンドボール代表チームの玉名市での事前キャンプが無くなった。 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あすチャレスクールが中止となった。			

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	東京2020オリンピックの1年延期となり、アンゴラ女子ハンドボール代表チームの玉名市での事前キャンプも延期となったが、ホストタウンとして市民と一緒に交流事業を行った。 ①日本郵便様と事業連携を行い、アンゴラ選手に応援ハガキを送った。(市内小中学生が書いた応援ハガキを駐日大使のご厚意によりアンゴラまで郵送してもらった) ②日本郵便様と事業連携を行い、アンゴラと玉名市の切手シートの制作。 ③市内公立保育園の園児が、駐日大使にクリスマスカードを贈った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、アンゴラ女子ハンドボール代表チームの玉名市での事前キャンプの実現に取り組む。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルスの影響により2020東京オリンピックが延期となり事前合宿も延期、しかしながら郵便局と連携し、手紙を選手へ届けたり、駐日アンゴラ大使へクリスマスカードを送る等の交流ができた。また、年度末にはアンゴラオリンピック委員会との協定書の締結もでき、出来る範囲での事業はおおむね出来たものとする。次年度においてはアンゴラ代表チーム来日時の感染予防策を最大限に行い事前キャンプを無事に終えたいと考えている。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① マラソン大会運営業務	実行委員会を開催する。	実行委員会等開催回数	回	***	4	3	4
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	
	対象(大会参加者数(全体))	0	7090	0	8000
投入コスト合計(千円)	3,243	23,933	16,851	49,229	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	3	0	6	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 大会参加者数(全体)	延べ参加者数	人	***	8000	8000	8000
			***	7090	0	
2 大会参加者数(市外)	延べ参加者数(市外)	人	***	7000	7000	7000
			***	6372	0	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け大会を中止したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 実行委員会形式での運営のため、実行委員会へ受益者負担あり ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症の影響で大会を実施できていないことから、現コースでの検討材料がない状況である。 ※R3年4月、道路改良工事に伴うコースの一部変更		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染症の影響により大会が実施できていないことから、本事業の成果に対する評価については大会開催後にコースも含めた大会の在り方について検討及び見直しを行っていく必要がある。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルス感染症の影響により大会が実施できていないことから、本事業による成果が分からない状況である。しかしながら、コースの微調整(コース変更)、練習で試走できるよう案内看板の設置等をおこなっている。次年度においては、コロナ対策を万全に行い、大会を開催し、コースも含めた大会の在り方について検討及び見直しを行っていく必要があると考えている。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 桃田運動公園管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数(公園を除く)	人	185678	158183	39000	50000
② 桃田運動公園指定管理事業	施設の適正管理とともに、公園利用者の増加に努める。	指定管理件数	件	1	1	1	1
③ 岱明、横島、天水地区施設管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数(公園を除く)	人	218413	185395	123519	100000

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(利用者数(公園を除く))	506208	429158	260301	250000
投入コスト合計(千円)	140,405	153,864	322,880	147,226
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	1	1
コスト評価(対前年比)	***	77.36% (↓)	28.90% (↓)	210.63% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 体育施設等総利用者数	市スポーツ施設を利用した総人数(公園や広場を除く)	人	300000 506208	450000 429158	450000 260301	250000
2						

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、施設の使用を停止したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.34 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により施設を長期間閉鎖または一部制限をしたため利用者数や収入は減少した。指定管理導入施設であるため、その補償等を行う必要がある。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和3年度プロポーザルを実施、令和4年度から桃田運動公園及び岱明他7施設の5年間更新となるため、施設の運営等については各管理者と協議を重ねよりよいサービスが提供できるよう努める。また、令和3年度も引き続きコロナ禍での運営となるため検討協議し対応することとなる。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナ禍により、休館しなければならない時期が長がったため、利用人数が激減しているが、令和3年度も引き続きコロナ禍での運営となる。コロナ禍での開館中は注意喚起を十分に行い利用者に安全な利用をしていただく施設を目指したいと考える。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 多目的競技場建設検討事業	サッカー場建設にあたって会議を開催する。	会議回数	回	0	0	0	0
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(会議回数)	0	0	0	0
投入コスト合計(千円)	590	0	0	0	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 サッカー場建設の進捗率	建設工事進捗率	%	0	0	0	0
2			0	0	0	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	市が提案した伊倉中北地区にサッカー専用グラウンド2面を整備する計画案には、議会公共施設等建設特別委員会の意見より見直し意見があり、財源を含め課題の整理を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	建設規模及び候補地選定など内容が多岐にわたるため慎重な協議が引き続き必要となる。サッカー場建設に併せて400メートルトラックの整備の必要性を検討した上での多目的競技場建設も視野に入れるため、再度検討を開始する必要があるが、昨年度同様今後の会議予定はない。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	多目的競技場を整備するには、大規模な用地及び財源が必要であり、早々結論が出るものではないが、再度用地取得や財源の確保と並行して、利用形態や対象競技等の選考も行っていく事も必要であると考えているが、コロナ禍において、急務でない会議の開催を見合わせことも大事だと考えている。今後コロナの状況を見ながら、会議を開催し場所の選定等を含め協議していきたいと思う。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	--	----------------